

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第1回 所沢市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	平成30年6月27日(水)午後6時から午後7時40分まで
開 催 場 所	市役所高層棟2階 203会議室
出 席 者 の 氏 名	岡山 健太郎、森田 奈緒、盛口 誠司、伊藤 能子、梅本 晶絵、 三上 誠、廣川 隆通、星野 泉、萩本 眞一郎
欠 席 者 の 氏 名	藤田 由紀子
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市自治基本条例について (2) 条例の運用状況の報告 (3) その他
会 議 資 料	(1) 会議次第 (2) 資料1 所沢市自治基本条例&市民参加を進めるための 条例パンフレット (3) 資料2 情報の公開及び共有の状況 (4) 資料3 参加及び協働の状況 (5) 資料4 市政運営の状況
担 当 部 課 名	経営企画部経営企画課 電話 04(2998)9027 経営企画部次長 林 誠 経営企画課 課長 市川 勝也 副主幹 草薨 秀夫 主 査 河西 秀樹 主 任 野口 藍華 主 任 高野 大樹

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>開会后、市長よりあいさつ及び委嘱状の交付を行った。次に、委員の自己紹介、事務局の自己紹介を行った。続いて、委員長・副委員長の選出を行い、委員長に星野委員、副委員長に三上委員が選出された。</p> <p>（１）所沢市自治基本条例 事務局から条例の概要について説明を行った。</p>
委員	<p>市民憲章というものはあるか。</p>
事務局	<p>昭和 6 2 年 3 月制定のものがある。所沢市自治基本条例は市民憲章の内容を、より詳細に描き、実現するという意味においても機能するものである。</p>
委員	<p>個人の自治会活動や自治連合会の活動と目指すところは同じだと感じる。自治会に入っていない方を巻き込んでいく、そのための PR を進めていくということが我々の仕事である。</p>
副委員長	<p>本委員会の委員を何期か経験し、この条例の内容がようやくわかるようになってきた。本日が初めての委員についても屈託のないご意見を頂ければと思う。</p>
委員	<p>この条例の趣旨としては、市民と行政とのコミュニケーションをよくすることにあると思う。委員会では、両者に偏りが生じないようなコミュニケーションを考えていくことが求められる。</p>
委員長	<p>人口規模というのは重要で、規模が大きくなればなるほど、個人の意思と全体の決定との距離が広がる。その間を自治会・町内会等の様々な単位で補完していく必要がある。</p> <p>この条例は、市・議会・市民団体等との間の風通しをよくして、議論を進めていくためのものである。</p> <p>市民の意向を市政に反映させるという場合には、議会がその基本部分に当たるが、議員に限らず多くの方の参加をできる限り求め、行政・公共サービスとの関わり方を検討していく必要がある。</p>
副委員長	<p>所沢には「市の仕事報告会」という行事があり、これは市職員が、自分たちの仕事を自分たちの言葉で説明するという点で先駆的な取り組みだと感じる。委員の皆さまも参加していただくことで自治基本条例の中身がわかってくるのではないか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>今年度1回目の「市の仕事報告会」に参加した。こうした取り組みを毎年行っていることを知らなかった。説明を担当者が行って、情熱をもって仕事に取り組んでいることがうかがえ感心した。</p>
委員	<p>市の職員が試される場という意味でも、よくできた教育システムだと思う。</p>
副委員長	<p>報告会では、財政状況についての話も出たが、福祉などに費やす支出が多くなると、財政的に厳しくなる。だから、出るお金と入るお金のバランスを考えていく必要があるわけだが、そうした課題意識を共有することも市民参加であると思う。</p> <p>地域の課題についても、自治会等を介した解決の仕方に繋がられるよう、コミュニケーションを図っていくことが大切である。</p>
委員	<p>自治会について、並木地区では高齢化が進み、会長や役員のなり手がいないなど、自治会本体の維持・存続にかかる課題も出てきている。厳しい状況の中で、どう行政に関わっていくかが課題である。</p>
委員	<p>学校のPTAと自治会との連携を図っていくなどの方法もあるのではないか。</p>
委員	<p>（2）条例の運用状況の報告</p> <p>事務局から条例に規定している「情報の公開及び共有」、「参加及び協働」、「市政運営」の状況について説明を行った。</p>
委員長	<p>全体的に実績値は向上していることがうかがえるが、市民活動支援センターの利用者数は減少傾向にある。これは何故だと考えるか。</p>
事務局	<p>一概には言えないが、同センターを開設した当初は、NPOを立ち上げていくことに対して社会的な興味が強く、自発的に活動する人が多かったなど、社会全体の風潮も影響しているのではないか。</p>
委員	<p>市民活動支援センターは新所沢駅から徒歩圏内にあるが、同じエリアに新所沢まちづくりセンターやこどもと福祉の未来館があることから、利用者が分散したのではないか。</p>
委員	<p>パブリックコメントを行う際に、意見提出者の年齢や在住年数などが把握できれば、興味深い結果が得られるかもしれない。</p>
委員	<p>パブリックコメントは計画や条例の案ができた後の手続きだが、案</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>の作成に市民が関わる可能性があるのか。</p> <p>たとえば、第6次所沢市総合計画の策定においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民検討会議への参加（無作為抽出による市民が市職員とグループワークを行った） ・審議会への参加（委員のうち6人は無作為抽出による市民委員） ・パブリックコメントの実施 ・市議会での審議（予定） <p>というプロセスにより市民の声を反映できるよう努めている。</p>
委員	<p>所沢市には SNS やホットメールなどいくつかの広報媒体があるが、自治会等が容易に情報発信できるように、プラットフォームの構築をお願いしたい。</p> <p>（3）その他 委員から本日の会議の感想等を一言ずついただいた。</p>
委員	<p>今日の話を持ち帰って、周りに話すところから始めてみたい。</p>
委員	<p>都内でイベント関連の仕事をしている。「市の仕事報告会」の話も出たが、対象となる人数の規模はまだまだ充分ではない。市がどのようなプロモーションを行うかを考えるときに、まずは興味を持ってもらう、会場まで足を運んでもらうことが大切だと思う。</p>
委員	<p>行政評価の対象となる項目をみると、どの項目も相当重要だと感じた。</p>
委員	<p>今日の会議で、市が取り組んでいる努力は伝わってきた。ただ、自治基本条例についても、市の仕事報告会についても、知らない市民が多いと思う。</p> <p>自分でホームページや広報紙を確認しない人でも、ちゃんと目に触れるような情報発信の方法を考える必要がある。</p>
委員	<p>自治会も社会福祉協議会も大変な状況にある。自分たちの街をよくしたいという人も多いが、どのように参加できるのか、次の一手が出ず、仕事が忙しかったり障害があったりして、参加に結び付かないケースもあるように思う。</p> <p>参加しやすく、行ってみたいと思える状況を我々委員の目線で考えていけたらと思う。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>高齢者の中で、市ホームページを見ている人は、それほど多くはない。もっとPRの方法はないのか。とにかく目にしてもらうことが大切だと思う。</p>
委員	<p>自分自身、委員になるまで自治基本条例を知らなかった。知って、興味が湧いてきた。</p> <p>同じように、自治会の活動などでも、参加してみてもわかる良さというものがあると思う。そうした点を、シニアではなく、30～40歳代向けの特別な広報活動として行っていくのはどうか。</p>
委員長	<p>学生はテレビも見ないため、広報の手法を考えるのも難しいところがあると思うが、委員の知恵でよい方法が導き出せればと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>